

H断面コンロッド用ボルト

製品説明書



本製品は、下記に示すものに取付け可能です。
万が一異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

取付けは必ず専門業者に依頼して下さい。
本書はご使用前に必ずお読みください。

商 品 名	H断面コンロッド用ボルト
用 途	自動車専用エンジン部品
コードNo.	2305-RA001
備 考	CARRILLO (SPS) 製コンロッドボルト専用 本コンロッドボルトは、頭部に、CARR SPSと刻印がついているコンロッドボルトと互換性のあるものです。 HKS022 ARPと刻印があるものとの互換性はありません。 違う刻印のボルトと交換すると、正常な締付け力が得られず、エンジンが破損する場合があります。 コンロッドボルトは再使用不可部品です。 本製品の取付けには、1/2インチの12ポイントソケットレンチ・ポイントマイクロメータ(25 ~ 50mm)・潤滑剤・トルクレンチが必要です。

製品説明書品番 E13215-K00010-00

2002年10月28日発行

Ver. 3 - 1.01

(禁無断複写、転載) (株)エッチ・ケー・エス

目 次

	ページ
目次	1
用語の説明	1
改訂の記録	1
はじめに	2
安全上の注意	2
パーツリスト	2
取付方法	4
維持・管理	5
異常・故障時の対応	5
アフターサービスについて	5
お問い合わせ一覧	5

用語の説明

専門業者	: お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
コードNo.	: H K S 製品及び部品を注文する際に使用する番号。
ユーザマニュアル	: お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
点検・整備	: 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検	: 自動車を運行する人が、一日一回運行前に行なう点検です。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従って作業を行なってください。
ノーマル車両	: 車両購入時の状態。 アフタパーツを取付けていない車両。 事故を起こしたことのない車両。
メーカー	: 車両の製造メーカー。
誤使用	: 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記載変更内容
3-1.01	2002/10	初 版

はじめに

この度は、H K S H断面コンロッド用ボルトをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼して下さい。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全に御使用下さい。

本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行なってください。

本書・本製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及び、H K S製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。
上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country.
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、専門業者又はH K Sお客様相談室（本書最終ページに記載してあります）にお問い合わせください。
部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。
コードNo. は、本書パーツリストに記載されています。
- 取付け終了後、本書の“アフターサービスについて”に記載されている取付け業者名 記入欄に必要事項を必ず記入してください。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用しお客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷及び中傷を負う可能性がある場合



注意

作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）
拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害（例えば車両の破損及び焼損））

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

⚠ 警告

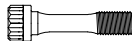
- 爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。
 - ・ 換気のよい場所で作業してください。
 - ・ 可燃物を取扱う際は、火気に充分注意してください。
- 電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。
 - ・ バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外してから作業を行なってください。
 - ・ コネクタを取外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。
- 車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当ててください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行なってください。
 - ・ 所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく車両を傷つける恐れがあります。
 - ・ リジッドラックを確実にかけないと車両が落ちてケガをしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品の誤使用は、絶対に行なわないでください。
 - ・ 誤使用すると、最悪の場合エンジン破損の恐れがあります。本来の性能を損なう恐れがあります。
- 作業を始める前にエンジンルーム内の各部分の温度が約 40 位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。
 - ・ 火傷をする恐れがあります。
- 異物混入によるエンジン破損を防止するため、次のことを守ってください。
 - ・ ホース等に異物が入らないようにウエス等をかけておいてください。
 - ・ 抜き取ったエンジンオイルは再使用しないでください。

- ノーマルパーツの取付け・取外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行なってください。整備要領書がお手元ない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 本製品の取扱いは慎重に行なってください。落としたり、傷つけたり、強いショックを与えないでください。取付け不良や故障の原因になります。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行なうと、ボルトのねじ部が破損します。
- 取付け作業のため一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。又、ノーマルパーツを取付ける際間違えて取付けないように、取外すノーマルパーツにはマーキングをしてください。

パーツリスト

連番	コード No.	品 名	数量	形 状	備 考
1	G13215-K00010-00	Bolt Connecting Rod (CARR SPS)	1		CARR SPS 刻印付き

取付け方法

1. 取外すボルトの頭部に、CARR SPSと刻印があることを確認してください。
2. 古いコンロッドボルトを取外す前に、ポイントマイクロメーターで長さを測定してください。
3. 取外した後、再度長さを測定して、伸び量を確認してください。
4. 取付けるコンロッドボルトのネジ部・座面にコンロッドに付属していた潤滑剤（潤滑剤はモリブデンペーストにエンジンオイルを混合したもので代用可）を均一に塗布してください。（図1）
5. コンロッドの座面に当たるまで手で軽く締め付けてください。
6. オートポンチなどで図1の位置に軽く印をつけ、その印でボルトの全長をポイントマイクロメーターで測定してください。測定は、正確に行ってください。
7. 左右のボルトを3回に分けて 50 Nm （ $5\text{ kgf}\cdot\text{m}$ ）まで締め付けてください。
8. ボルトの全長を一度測定し、表1内の規定の伸び量になるように少しずつ締め付けてください。
9. トルクが 88 Nm （ $9.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$ ）以上になっても伸びが規定値に入らない場合は、ネジ山や座面の異常・潤滑剤の不足・トルクレンチの異常等が考えられますので、その原因を調べ、ボルトの交換・潤滑剤の再塗布・トルクレンチの校正などの対処をしてください。
伸びが規定値に入らないと、エンジンが破損する場合があります。
10. 一度締め付けたボルトは、同じ場所に使用してください。

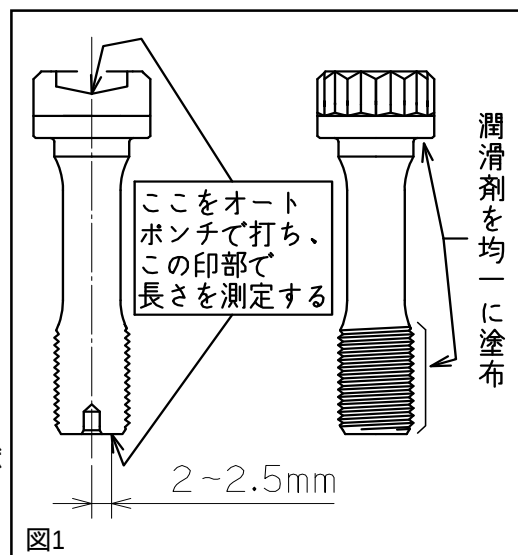


図1



図2

表1	伸びの規定量
交換する古いコンロッドボルトが、 の場合（図2）	「2」、「3」で測定した伸び量 $+0.003 \sim 0.007\text{ mm}$ で、 $0.157 \pm 0.022\text{ mm}$ の範囲。 両方満たせない場合は、 $0.157 \pm 0.022\text{ mm}$ を優先する。
交換する古いコンロッドボルトが、 の場合（図2）	「2」、「3」で測定したの伸び量、もしくは $0.153 \pm 0.025\text{ mm}$

⚠ 注意

- オートポンチで印をつけるときは、強く打たないでください。
必要以上に強く打つと本製品が変形し、性能を発揮できなくなります。
またそれによってエンジンが破損する場合があります。
- コンロッドボルトの締め付けは、必ずボルトの伸び量で管理してください。
トルクで判断して締め付けると、締め付け力が安定しないため、コンロッドボルトやエンジンが破損する場合があります。

維持・管理

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行なってください。

- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。
- ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

異常・故障への対応

警告

- もれ（オイル・水）が生じている場合には絶対にエンジンを始動しないでください。
 - ・ 専門業者にもれがどこからどのように生じているか状況を告げ、修理を依頼してください。
 - ・ オイルもれがひどい場合は、二次災害を防ぐため問い合わせの際に応急処置の方法を聞いて対応してください。
 - ・ 必ず専門業者の指示に従ってください。
- 最悪の場合、オイルもれにより車両火災が起きる可能性があります。

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず業者に依頼してください。
- 走行中、異音、異臭、振動等の異変があった場合にはサービスマニュアルに従って対処してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお客様相談室にご相談ください。

取付け業者名	
電話番号	
担当者名	
お客様氏名	

お問い合わせ一覧



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県 富士宮市 北山7181

<http://www.hks-power.co.jp/>

所在地、電話番号は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。